

コスモ石油のSAF取組みについて

2025.05.14

コスモ石油株式会社

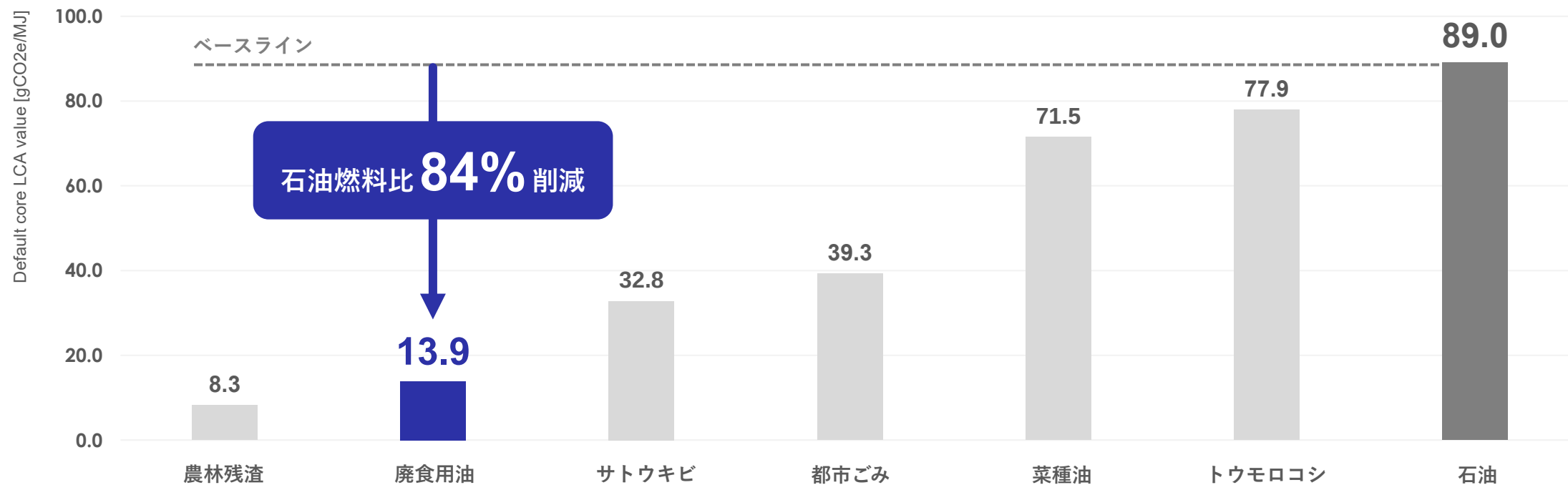
次世代プロジェクト推進部

SAFとは、Sustainable Aviation Fuel（持続可能な航空燃料）の略称で「廃食用油」「木くず」「都市ごみ」「植物」など様々な原料から製造されます。

SAFに関する5つのポイント

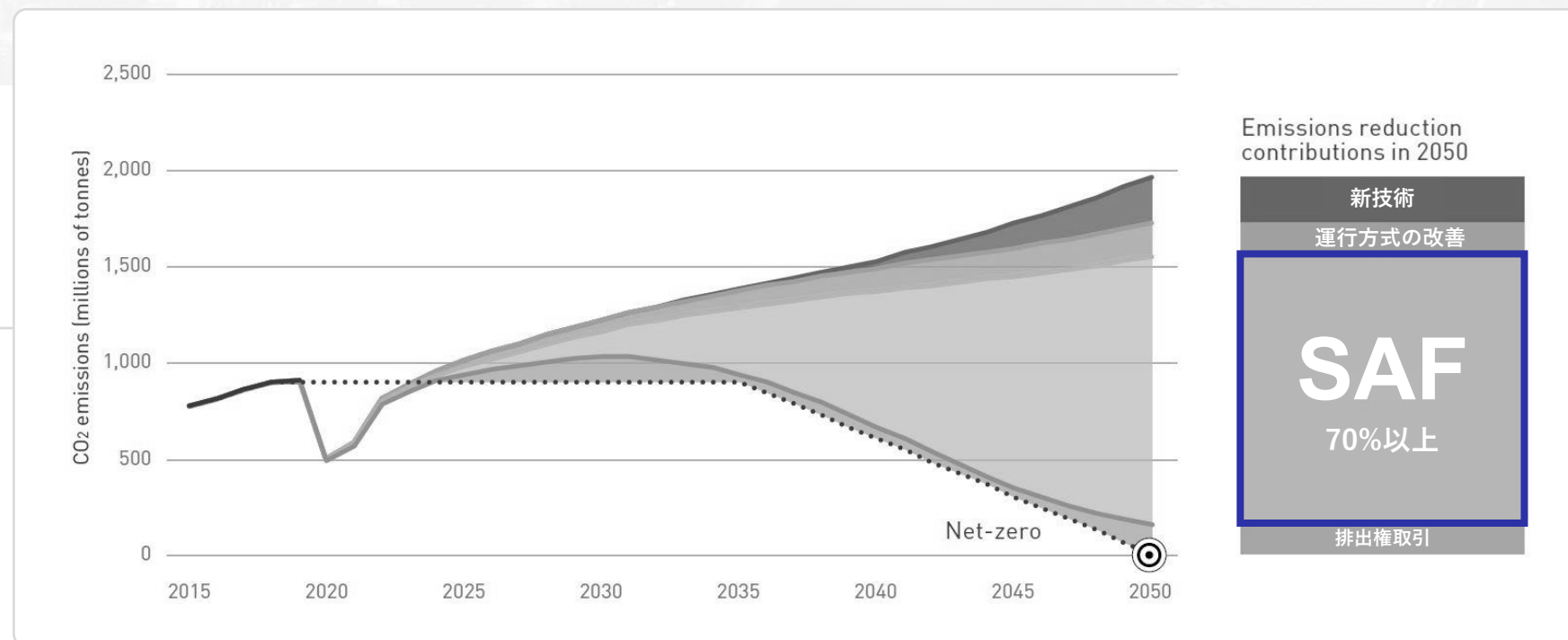
- 1 化石資源以外を原料とする持続可能な航空燃料
- 2 様々な原料・製造技術が存在
- 3 従来の航空燃料と比べライフサイクルでCO2排出量を大幅に削減
- 4 既存のインフラ（航空機、貯蔵・給油設備など）が使用可能
- 5 中大型の航空機にはSAFが不可欠

様々な原料の中でも「廃食用油」を原料とするSAFは、ライフサイクルベースで
石油燃料比84%のCO2削減効果を有する



※出典：ICAO (2022.6.); CORSIA Eligible Fuels – Life Cycle Assessment Methodology に基づき作成

SAFは2050年「Net Zero」を目指す航空セクターの脱炭素で**中心的役割**に 需要急騰の中、国産化によるSAF供給体制構築が重要



※出典：<https://aviationbenefits.org/environmental-efficiency/climate-action/waypoint-2050/>

- ✓ 23年5月/24年6月SAF官民協議会*1にて**石油元売のSAF供給義務化方針**打出し
- ✓ 23年12月に**SAF政策支援予算案**が閣議決定（24年3月予算成立）

- 16年10月**：ICAO*2 総会にて目標採択
 →国際航空セクターCO2排出量を20年比で増加させない
- 22年4月**：SAF議連*3 やSAF官民協議会にて議論活発化
 →国交省が「**30年にJET燃料使用量の10%をSAF置換目標**」公表
- 22年10月**：ICAO総会にて新目標採択
 →①国際航空セクターCO2排出量を19年比15%削減
 ②50年CN
- 23年5月**：**30年にSAF10%供給義務化方針**打出し（SAF官民協議会）
- 23年12月**：GX経済移行債を原資とする**SAF政策支援予算案**が閣議決定
 →①大規模SAF装置への設備投資支援（補助率1/3~1/2）
 ②SAF1Lあたり最大30円税控除
- 24年6月**：**30年にGHG5%削減相当のSAF供給義務化方針**打出し（SAF官民協議会）

<当社SAFイベント>

21年1月

廃食用油SAF検討開始

22年7月

- ・30年30万KL目標公表
- ・バイオエタノールSAF検討開始

22年11月

廃食用油SAF事業化決定

 **SAFAIRE SKY ENERGY** 設立

23年5月

廃食用油SAF起工式@堺製油所



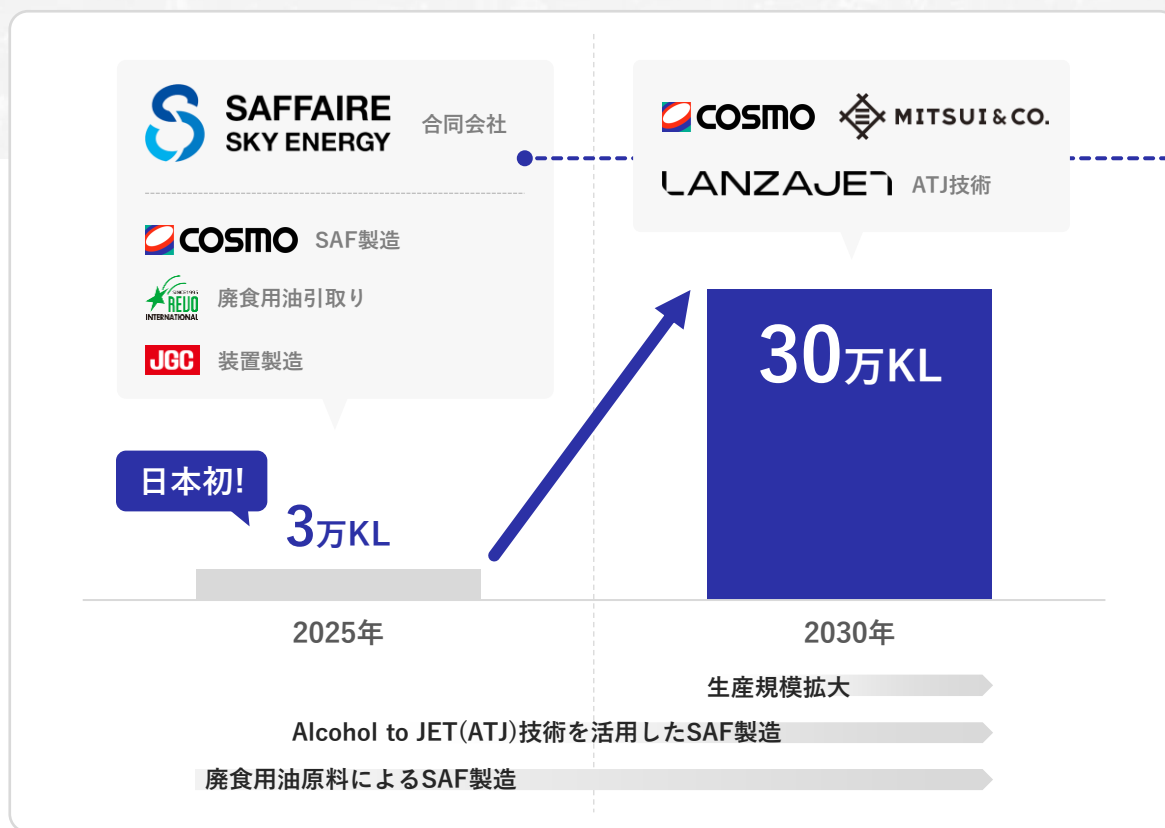
（経産副大臣、堺市長らご来賓）

*1) SAF官民協議会：持続可能な航空燃料の導入促進に向けた官民協議会（22/4発足）

*2) ICAO：国際民間航空機関（International Civil Aviation Organization）

*3) SAF議連：持続可能な国産燃料を考える会（21/8発足）

当社は2030年までに「年間30万KL」のSAF供給を目標として取組んでいます



1

廃食用油原料のSAF事業 (HEFA) | 3万KL/年

- 22年11月 事業パートナーである日揮HD様、レボインターナショナル様と新会社「サファイアスカイエナジー」設立
- 24年度内 装置完工 / 運転開始 *SAF量産化 国内第1号案件

2

バイオエタノール原料のSAF事業 (ATJ) | 15万KL/年

- 22年7月三井物産様と共同でFS検討開始
- 副生品としてバイオディーゼル | 約1.7万KL/年

3

さらなるSAF供給に向けた輸入検討 | + α

- 23年3月タイ Bangchak社と覚書締結
- 23年12月、同社とSAF輸入のフレーム合意書締結

以下2点において、本事業は**国内初のSAF製造事業**となります

①国内初の**SAF量産化**(年間約3万KL) ②国内初の**CEF認証***取得

*CEF認証: CORSIA Eligible Fuel (CORSA適格燃料) の略で、ICAO (国際民間航空機関) が定めるGHG削減基準等を満たした航空燃料



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
「国産廃食用油を原料とするSAF製造サプライチェーンモデルの構築」 助成事業

2024年12月装置完工、2025年3月6日に
竣工式・祝賀会を開催

試運転を経て国内初となるSAFの大規模生産開始



[主な出席者] *役職等は当時

日揮(株)雨宮常務、NEDO飯村理事、経済産業省 永井課長、SAFFAIRE SKY ENERGY 秋鹿代表、日揮ホールディングス(株)佐藤会長、
コスモエネルギーホールディングス(株)山田社長、(株)レオインターナショナル越川社長、コスモ石油(株)鈴木社長、国土交通省 秋田部長、堺市 永藤市長、コスモ石油マーケティング(株)森山社長

事業最大の課題である廃食用油収集につき、排出元とのSAF共創をアプローチ サファイアスカイエナジーへの原料供給を大手排出元企業様との基本合意書締結を展開中です



FOOD & LIFE COMPANIES様

回転すしチェーン「スシロー」と
大衆すし居酒屋「鮨 肴 杉玉」の
国内約680店舗で使用した廃食用油を提供。



東京メトロ様

めとろ庵などの飲食店で使用した
廃食用油を提供。
また駅コンコース内サイネージ、電車内での
SAF広告展開も（24年1月）。



コロワイド様

かっぱ寿司、大戸屋ごはん処、FRESHNESS
BURGERなど2,300店舗を有し、食用油の
調達量は年間約3,800KL。
その廃油のうち約3割を提供。



トリドール様

丸亀製麺など約20ブランドを有し、
国内約1,000店舗を展開。
これらの店舗で出される廃食用油年間およそ
600トンから提供。

※一部取り組みのご紹介

大部分が廃棄されている**家庭から出る廃食用油(年間約10万トン)**についても
貴重な国産資源として全国の企業様・自治体様と連携し回収を進めています

野村不動産株式会社



大規模マンションでの
家庭の廃食用油回収、
および住民向け周知イベントの
実施。

コスモ石油株式会社



ガソリンスタンドにて家庭の
廃食用油を回収。

各自治体



自治体イベントでの家庭の
廃食用油回収と周知。

三菱地所株式会社・株式会社大丸松坂屋百貨店



丸ビルや新丸ビル、大丸や
松坂屋などの商業施設および
施設イベントでの
家庭の廃食用油回収と周知。

日の丸SAFが持続可能な事業となるよう、原料調達ネットワーク強化やコスト競争力強化といった重要課題には引き続き官民連携で取り組みながら、着実にプロジェクトを遂行します

SAF注目度の高まりから今般多くのメディアに取り上げられています



